



目的

- 萩・竹灯路物語は、竹灯籠であかりを灯し萩城下町を幻想的に彩る、秋のナイトイベントとして定着しており、同時期に開催される「着物ウィーク in 萩」等の昼間のコンテンツとあわせて、滞在時間の増加及び宿泊促進を目指す。
- 一方で、竹灯籠で創り上げる景色を含め、イベント自体のマンネリに課題がある。令和4年度に整備する予定の城下町内広場香雪園を有効活用するとともに、デジタル技術を活用したプロジェクションマッピング等の空間演出での魅力創出を図る。
- あわせて、当該イベントに明確な魅力付ができるこの企画を契機ととらえ、城下町エリアで新たな事業を展開している民間事業者との連携を図るものとした。

【日 時】 令和4年10月8日(土)～10日(月祝) 18:00～21:00
 ※プロジェクションマッピング等の新規事業に分については、上記期間を内包する形で期間延長の可能性有り

【場 所】 萩城城下町

【既存事業】 竹の灯籠(3,000基)による萩城下町のライトアップ

事業内容【新規】

竹灯籠で城下町を灯す既存の取り組みに加えて、以下の取り組みを実施。

▶文化財施設等を活用したプロジェクションマッピングを実施！

城下町の文化財施設や白壁、令和4年度に整備する予定の城下町エリア内の広場 香雪園等のスポットを有効活用した、プロジェクションマッピング等の空間演出を実施することでの魅力拡大を目指す。

※具体的な活用スポットについては、委託者と実行委員会とで協議のうえ決定する。

既存イベントのブラッシュアップをきっかけに、**城下町エリアの民間自事業者と連携。**

(R3においても検討したが、当該イベントと連携する明確なメリットを提供できなかったこと等から、**連携は不完全なもの**となっていた。)

城下町エリアの滞在時間延長・新たな魅力の発信

【既存イベントに魅力づけ】



【城下町エリアの民間事業者】



イベントの魅力創出により、民間事業者が連携しやすくなる

連携方法は、事業者と協議のうえ企画。出店やまち歩きの仕事掛けなど

- ・城下町エリアにおけるスタートアップ事業のPR
- ・新たな連携民間事業者の参入 など